



桜満開、春爛漫、笑顔全開

ひなの家押野通信第29号

○……ひなの家押野の花見会が4月6日、金沢市民芸術村(同市大和町)でありました。

この日は朝からほかほか陽気となり、絶好の花見日和になりました。利用者が車に分乗して、芸術村を訪問しました。この施設はかつて紡績工場跡地で、そ

ここに植えられていたささの桜の古木が、満開となりました。利用者は桜の木の前で万歳をして春を満喫しました。

○……これより数日前、押野中央公園にて花見会があり、利用者が参加しました。桜が8分咲きでしたが、会場にはミニキリコウ京が展示され、雰囲気を感じ上げていました。来場者は花見団子のサービスもありました。



野々市市押野1-31
電話076(287)5810



【⑤】は、瀧の桜の下で万歳する利用者。金沢市民芸術村(左)は、桜とキリコの前で記念写真を撮る。押野中央公園

四季を撮る



目にも鮮やかチューリップ



色とりどりのチューリップを近所の方が届けてくださいました。花好きの利用者が早速、切り花にして、花瓶に行けました。濃い紫、淡いピンクピンク、赤、黄色など目にも鮮やかな花は春の花にふさわしく魅力的です。

ののシティバザーに初参加
利用者制作の巾着が好評

ホームの利用者が縫った巾着などを野々市市種荷のフォーラムのシティで開かれたバザーに出品し、とても好評でした。



【利用者で作った巾着などを売るバザー】

ホームが用意した布地に、70代の女性利用者が、自宅で得意のミシンを使って約50枚の巾着を縫い合わせました。巾着は幅10cmぐらいから30cmまで大小があり、お金小物を入れることができます。一枚100円で販売しましたが、10枚余り売れました。このほか、スタンプが育てた多肉植物も販売しました。

一晩限りの「スナックおしの」開店 利用者がお酒やカラオケを楽しむ



利用者にお酒やカラオケを楽しんでもらう「スナックおしの」が4月8日、ホームで一夜限りでオープンしました。

利用者の中に以前、よくスナックに通ってカラオケを歌っていたが、いまはなかなか行けないと懐かしむ声があり、開いた。

カラオケ設備は、同じグループの老人ホームで借りた。参加者は宿泊の利用者が中心。チャイナ服を着たスタッフがお酌



【カラオケを楽しむ】



羽咋の山へグルメツアー 利用者が手作りそばに舌鼓

利用者かグルメツアーで羽咋市神子原を訪れ、手作りそばに舌鼓を打ちました。

1時間ほど車に揺ら



利用者かグルメツアーで山あいのそば店へ。好みによって野菜や山菜のてんぷらをつけたり、ニンジン入りを注文。おいしそうにそばをすすっていました。



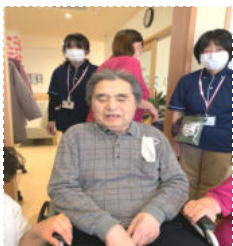
【①は、てんぷらそば
②はニンジンそば】

◎編集後記

「句を食べると寿命が延びる」。あ朝、スタッフが金沢の山沿いの販売所に並んでいた句のタケノコを買って、ホームに持ち寄った写真。早速厨房スタッフが調理し、煮物やタケノコご飯にして利用者に。元気で長生きしてほしいと気持ちがかもっています。(浦上)

「元気をくれてありがとうございます」
ホーム最後の村田さんを見送り

2020年2月から通いや泊りなどでひなの家押野を利用していただ村田三郎さんが4月半ばに野々市市内の別の老人ホームに移りました。
ホーム最後の日、スタッフが車いすの村田さんを



①は村田さん
②はメッセージ

